

ことが、なんとなく楽しいだけでした。他の
学年やクラスの子たちがいなくなつたあと、
自分たちだけで残っていることがなんだかう
れしくて、わいわいみんなで騒ぎ、練習なん
て少ししかしていません。ところが、ここ
ろが、ある日みんなでいつものようにいいか
げんな合唱の練習をしていた時でした、ピア
ノを担当していた女の子が、突然泣きだして
しまったのです。「こんなじゃ、恥ずかし
くて本番ピアノを弾けない。」その子はそうい
いました。ぼくたちはみんな、だまってしま
いました。その後、学級委員がその子に謝り
ぼくたちは本気で練習するようになりました
すると、ふざけていたときよりも、練習して
いるときの方がずっと楽しくなってきました
真剣になればなるほど、歌うことが楽しくな
ってきたのです。
その年、ぼくたちは六年生をおさえ優勝
しました。とても気持ちのいい経験ができた
と思います。